

1. 会長 ご挨拶

会長 小松川 浩
公立千歳科学技術大学

今年度より、不破 泰前会長からのバトンを引き継ぎ、運営にあたらせて頂くことになりました。皆様のお声を大事に進めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、DX 時代の教育改革が求められる中、効率的な大学運営の中で学生個々の学びの質を高めていくことが求められています。また、コロナ禍で実施されたオンライン教育のノウハウも、自律的な学習の重要性の再認識へと繋がり、継続的・発展的に展開されると期待されます。こうしたトレンドを見据え、部会を中心に、オンライン教育に関わるシステムの導入・運用方法の共有、基盤系の教材と利用方法の共有、各大学での事例の共有を、部会幹事の先生方を中心に、テーマの設定を行っています。

第一部会では、Moodle や Google などのオープンなシステムの導入やそれを活用した教育サービスの運用方法を共有して行きます。第二部会では、各大学で共通的に利用可能な教材の収集を図っています。特に今年は数理データサイエンス教育に関わる教材の共有を検討しています。また、第三部会では、こうした教材を活用した反転学習などの自律学習に向けた事例の共有を検討しています。

是非多くの会員の皆様に積極的にご参加頂き、事例を相互に共有して、各大学の教育の質向上のご参考にして頂ければと思います。また年度末の総会では、対面での実施の可能性も模索しつつ、総会フォーラムの準備・検討にも入っています。皆様と岡山でお会いできますことを楽しみにしております。

2. 2021 年度代表幹事校 ご挨拶

2021 年度代表幹事校
愛媛大学

2021 年度は、愛媛大学が e ラーニング協議会の代表幹事校を担当させていただきます。今回は、中国・四国地区開催とし、岡山理科大学を会場として開催いたします。

当協議会の発展のために微力ながら尽力させていただきます。総会フォーラムは、2022 年 3 月 8 日～9 日に岡山理科大学において、日本リメディアル教育学会 (JADE) ICT 活用教育部会との合同で開催予定です。詳細が決まりましたら、メール等でお知らせいたします。幅広いテーマの研究や先駆的な実践事例、活発な意見交換等により、皆さまに多様な知見に触れる機会が提供できるよう準備を進めてまいります。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

3. 2021 年度 運営体制

2021 年度は以下の体制で運営して参ります。

| | |
|-------|---|
| 会長 | 小松川 浩（公立千歳科学技術大学） |
| 代表幹事校 | 愛媛大学 |
| 事務局長 | 望月 雅光（創価大学） |
| 幹事校 | 岩手県立大学、愛媛大学、大手前大学、金沢大学、熊本大学 公立千歳科学技術大学、佐賀大学、信州大学、創価大学、帝塚山大学 長岡技術科学大学、山梨大学 |
| 監査校 | 大手前大学、帝塚山大学 |

4. 2020 年度 UeLA フォーラム・総会の報告

UeLA 事務局

1) 2020 年度フォーラム

2021 年 3 月 9 日、「ポストコロナにおけるオンライン教育のありかた」をテーマに、フォーラムをオンライン開催いたしました。

午前の部では、日本リメディアル教育学会（JADE）ICT 活用教育部会との共催にて、口頭発表が行われました。2 つのセッションに分かれ、計 14 件の研究発表が行われました。

午後の部では、当協議会主催のフォーラムとし、基調講演、事例報告、パネル討論、総括が行われました。基調講演では、文部科学省高等教育局専門教育課・科学・技術教育係長 河本 達毅氏をお迎えし、「オンラインへの期待と展望」というテーマでお話をいただきました。また、事例報告としまして、6 大学（愛媛大学、信州大学、創価大学、帝塚山大学、長岡技術科学大学、山梨大学）より、新型コロナウイルスの感染症の対策として実施された、オンライン教育をより効果的なものへと継続・発展させるための教育実践事例が報告されました。その後、小松川浩 新会長の司会進行のもと、1) ポストコロナを見据えた各大学の方向性、2) 個別最適化・学習者本位の学びのために、をテーマに、フォーラム登壇者をパネラーとしたパネル討論が行われました。最後に、当協議会の総括としまして、当協会共通基盤教材担当 山川広人氏（公立千歳科学技術大学）より、共通基盤教材の紹介がありました。

フォーラムは 77 名の方がオンラインにてご参加いただきました。ご参加いただいた皆様、ご協力いただいた皆様に、改めて感謝申し上げます。なお、フォーラム予稿集および発表資料につきましては、下記のアドレスにて公開しております。

UeLA・JADE 合同フォーラム 2020 予稿集

https://ucla.jp/wp/wp-content/uploads/2021/03/20210309_yoko.pdf

2) 2020 年度総会

フォーラム同日(2021年3月9日)、オンラインにて2020年度総会が開催されました。審議事項、報告事項は以下の通りで、全て承認されました。

■ 審議事項

1. 決算について
2. 予算について
3. 2021, 2022 年度, 監査校について

| | 新 | 旧 |
|-----|-------------|------------|
| 監査校 | 大手前大, 帝塚山大学 | 熊本大学, 佐賀大学 |

■ 報告事項

1. 2020 年度加盟・退会校の状況
2. UeLA&JADE 合同フォーラム 2020 について
3. 共通基盤教材利用状況について
4. 部会実施報告について
5. 2021 年度フォーラムについて
6. 任期満了に伴う会長の選任, 事務局長の任免について

| | 新 | 旧 |
|------|-------------------|-------------------|
| 会長 | 小松川 浩(公立千歳科学技術大学) | 不破 泰(信州大学) |
| 事務局長 | 望月 雅光(創価大学) | 小松川 浩(公立千歳科学技術大学) |

5. 2021 年度事業予定

事務局長 望月雅光
創価大学

1) 幹事校ミーティングの開催

日程が決まり次第、メール等でお知らせします。

2) UeLA & JADE 合同フォーラム 2021 の開催

日時 2022 年 3 月 8 日, 9 日

会場 岡山理科大学 (状況を見て、対面もしくはオンラインで実施予定)

- 内容
- ・ 基調講演
 - ・ 個人発表 (JADE との共催予定)
 - ・ 幹事校ミーティング
 - ・ 情報交換会

3) 部会の行事

日程が決まり次第、メール等でお知らせします。

6. 協議会よりお知らせ

1) 大学 e ラーニング協議会 (UeLA) の取り組みに関するアンケート

2021年6月10日から20日までの間、協議会の現状とニーズを把握するため、加盟大学およびメルマガ登録者を対象に e ラーニングの取組状況に関する Web アンケート調査を実施いたしました。

お蔭様で、貴重なご意見を多数いただくことができました。お聞きいたしましたご意見を踏まえて、部会活動の活発化や、共通基盤教材の提供内容の改善をして参ります。今後もお気づきの点がございましたら、UeLA 事務局までお聞かせいただきますと幸いです。

アンケートの回答にご協力いただき、お礼申し上げます。

2) 共通基盤システム活用のご案内

協議会では、文部科学省の補助事業で行ってまいりました大学間共同教育連携事業の成果を引き継ぎ、本協議会会員向けサービスとして、基盤教育向けの e ラーニング教材の共同利用を開始しました。数学 (中学・高校・大学初級)、日本語、SPI 対策をまずは利用できます。また、年内には英検対策 (5 級から準 2 級) までの内容を整備します。

会員大学は、試験利用期間 (1 年間程度) は無料で、本格利用に際しては年間 7 万円で、どの科目でも利用可能としています。詳しくは、下記までご連絡ください。

公立千歳科学技術大学 理工学部 教授 小松川浩 hiroshi@photon.chitose.ac.jp

公立千歳科学技術大学 理工学部 講師 山川広人 yamakawa@photon.chitose.ac.jp

3) 大学間連携 FD 研修 要請のご案内

協議会では、ICT を活用した FD 研修やシステムに関する利用説明に対する、大学間の調整を行っています。

上記の共通基盤を活用した事例の紹介、入学前教育の実践事例、反転学習の取組み、また、Moodle の運用方法等、連携大学が提供可能な情報について、講師派遣の形で、各大学の FD 研修などに派遣をいたします。

協議会 HP の「視察・講師派遣」ページをご覧ください、ご興味のある大学は、担当校 信州大学 新村 (uela-dispatch@googlegroups.com) までご連絡ください。

「視察・講師派遣」ページ : <https://uela.jp/visit/>

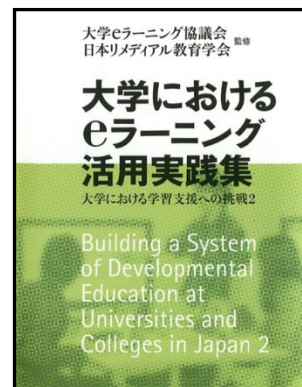
7. 書籍のご案内

当協会では、以下の書籍を監修しております。ご購入、図書館への推薦など、ご周知くださいませようご協力よろしくお願ひいたします。

■ 大学における e ラーニング活用実践集 大学における学習支援への挑戦 2

日本リメディアル教育学会 (<http://www.jade-web.org/>) と本協会が監修した書籍「大学における e ラーニング活用実践集 大学における学習支援への挑戦 2」が、2016 年 1 月 30 日に、ナカニシヤ出版から発行されました。この書籍は、大学教育現場での ICT を活用した教育実践とアクティブラーニングを含む新たな教育方法、教育効果の評価に関する知見をまとめ、さまざまなノウハウとともに紹介したものです。

<http://www.nakanishiya.co.jp/book/b214708.html>



■ 大学初年次における日本語教育の実践: 大学における学習支援への挑戦 3

日本リメディアル教育学会と本協会の協力により出版された書籍「大学初年次における日本語教育の実践: 大学における学習支援への挑戦 3」が、2018 年 3 月 30 日に、ナカニシヤ出版から発行されました。

この書籍は、大学教育現場である国立・私立・短期大学で、初年次教育に日本語教育を取り入れていくために必要な全学的な普及推進、科目運営、体制、ICT 活用を含む実施方法などを具体的な事例も踏まえて紹介、教育方法、教育効果の評価に関する知見をまとめ、さまざまなノウハウとともに紹介したものです。

<http://www.nakanishiya.co.jp/book/b353169.html>



8. 事務局からのご案内

1) 会費納入のお願い

2020 年度および 2021 年度の会費未納の機関は、納入をよろしくお願ひいたします。

振込口座 銀行名：北洋銀行

支店名：千歳中央支店

口座番号：普通 4126901

口座名義：ダ イ ガ イ ラーニング キョウキ カイ

大学 e ラーニング協議会

2) 加盟大学イベント案内

加盟大学主催のフォーラム等の案内を当協議会ホームページ上でご案内させていただいております。掲載を希望する大学は事務局までご連絡ください。

協議会加盟大学の皆様が学会表彰を受けられたニュース等もニューズレターに掲載させていただきたいので、情報がございましたら是非お寄せください。

大学eラーニング協議会ニューズレター NO.22

発行：大学eラーニング協議会 事務局

発行日：2021年7月8日

お問合せ：office@ucla.jp